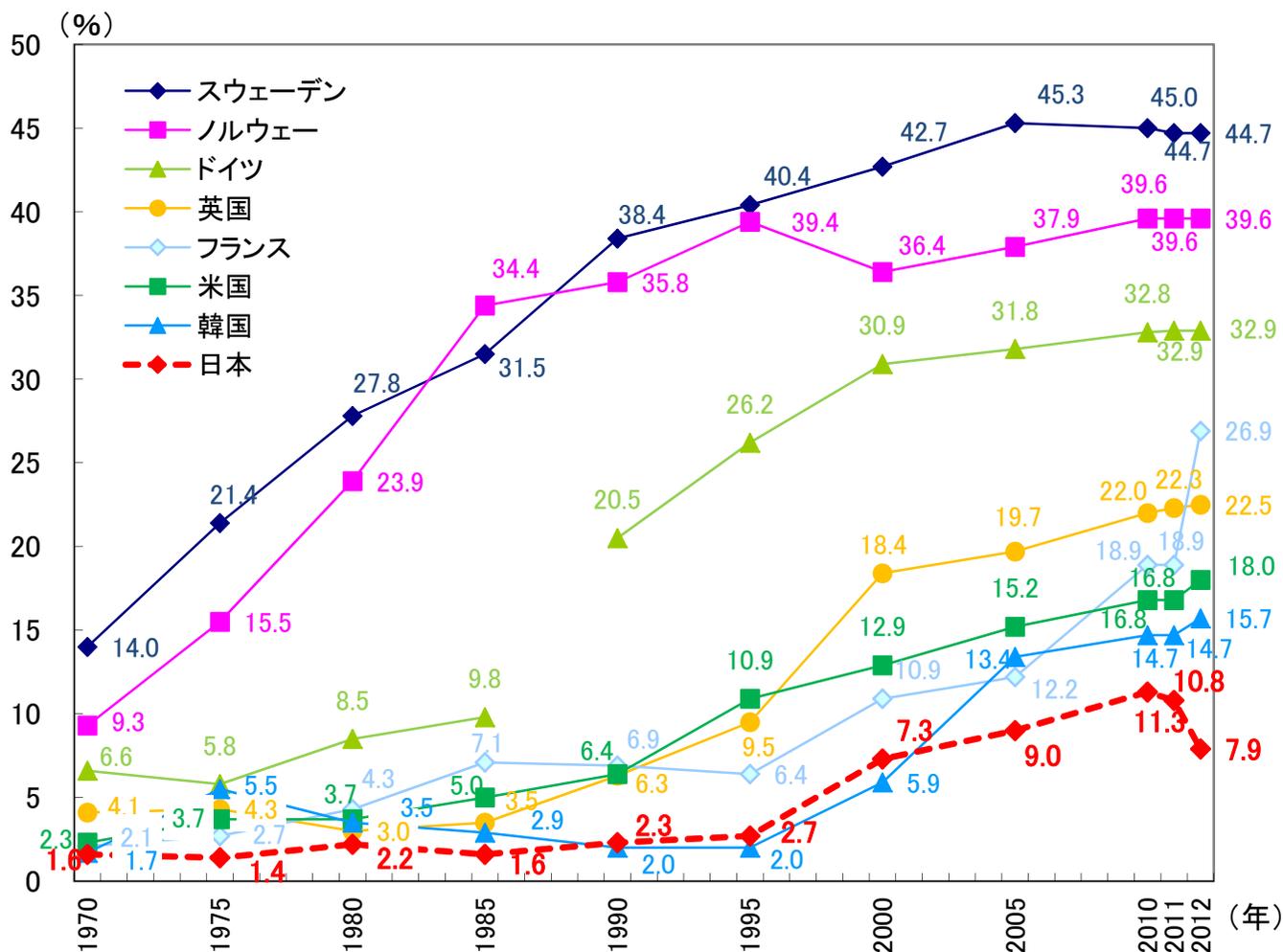


# 我が国及び諸外国における女性の参画状況等

## 政治分野

日本の国会議員に占める女性割合は上昇傾向にあるものの、先進諸外国との格差は大きい



(備考) 1. IPU資料より作成。調査対象国は190カ国。  
 2. 一院制又は下院における女性議員割合。  
 3. ドイツは1985年までは、西ドイツの数字。

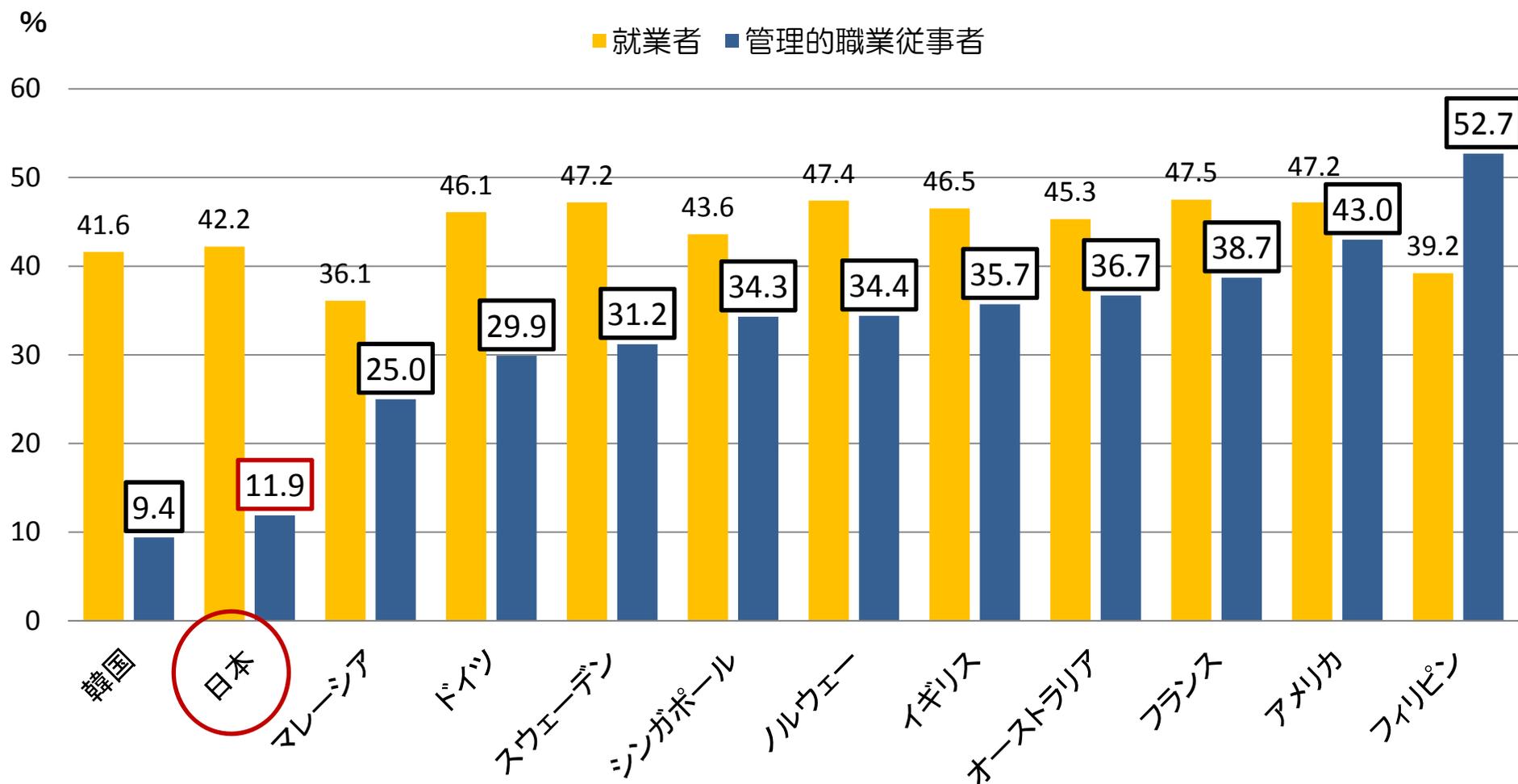
(2012年12月末現在)

国名	順位	割合
スウェーデン	4	44.7
ノルウェー	11	39.6
ドイツ	26	32.9
フランス	40	26.9
英国	64	22.5
アメリカ	91	18.0
韓国	105	15.7
日本	160	7.9

二院制の場合は下院の数字。順位は、IPU発表資料を基に内閣府にてカウントし直したもの。

## 雇用分野

就業者に占める女性割合に比べ、管理的職業従事者に占める女性割合は国際的にみても低い



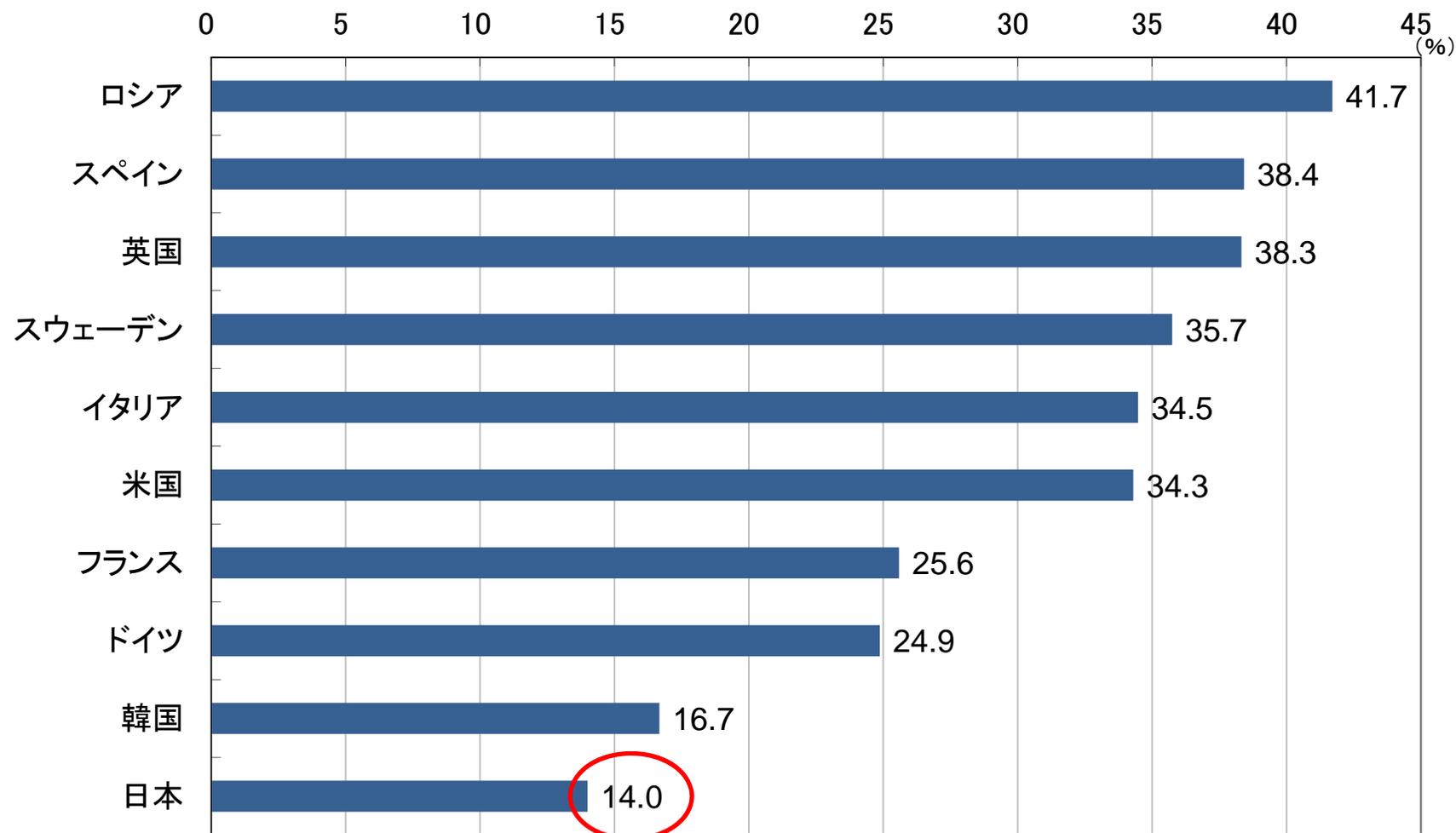
(備考) 1. 労働力調査(基本集計)(平成23年)(総務省)、データブック国際労働比較2012((独)労働政策研究・研修機構)より作成。

2. 日本は2011年、オーストラリアは2008年、その他の国は2010年のデータ。

3. 「管理的職業従事者」とは、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また、管理的職業従事者の定義は国によって異なる。

## 科学技術・学術分野

研究者に占める女性の割合は、他の先進諸国と比べても低い



- (備考) 1. EU諸国等の値は、EU「Eurostat」より作成。推定値、暫定値を含む。  
2. 日本の数値は、総務省「平成22年科学技術研究調査報告」に基づく(2012(平成24)年3月31日現在)。  
3. 米国の数値は、国立科学財団(NSF)の「Science and Engineering Indicators 2006」に基づく。